



キュー Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー



つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大特任教授

平成30年度外部被ばく線量測定の結果

Qちゃん 先生、相馬市ではD-シャトルによる外部被ばく線量測定を毎年行っているけど、昨年度の結果はどうなっているのかな？

つぼくら先生 平成30年度に行った外部被ばく線量の測定結果は図のとおりだよ。

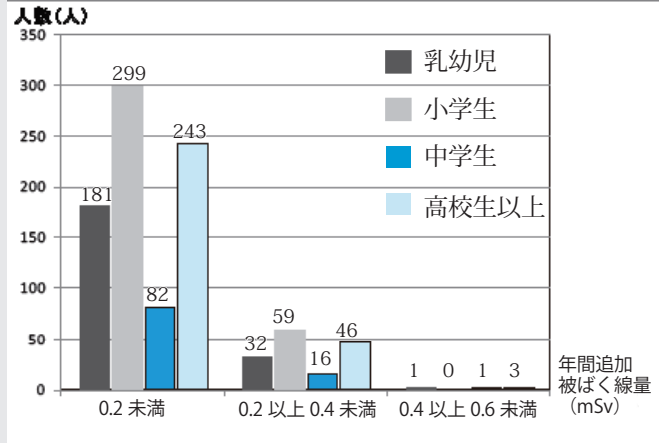
合計で963の方が測定を行った結果、年間追加被ばく線量（推定）が国の定めた目標値（1.0mSv）を超えた人はいなかったよ。もう少し詳しく言うと全ての測定結果は0.5mSvより低い線量で、将来的な病気や次の世代への影響を考える必要が無いレベルだったよ。

Qちゃん そもそも年間追加被ばく線量って何のことだったけ？

つぼくら先生 原発事故以前から人は自然の放射線で被ばくしていたことは知っているよね？自然に浴びる放射線に追加して1年間でどのくらい放射線を浴びるかを2週間の測定結果をもとに計算したものが年間追加被ばく線量だよ。

Qちゃん 先生ありがとう。

【図】平成30年度外部被ばく線量測定結果



今回Qちゃんが分かったこと

平成30年度の外部被ばく線量測定の結果、年間追加被ばく線量が健康に影響を与えるレベルの人はいなかったということ。

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

食品の放射性物質測定

市は、家庭で栽培された野菜や、農林水産物などの食品を安心して自家消費できるよう判断の参考にしていただくため、下記施設で放射性物質濃度を測定しています。

- 予約時間 9時～17時
- ※電話予約をお願いします。
- ※土日祝日を除く。

測定施設名	電話番号	測定日
市役所	37-2270	月曜日～金曜日
玉野公民館	34-2001	
磯部公民館	33-5561	
山上公民館	32-5009	
飯豊公民館	35-2409	火曜日
大野公民館	35-2326	水曜日
日立木公民館	35-2901	木曜日
八幡公民館	35-2408	金曜日

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

- 4月分 ▼測定件数 11件
- (内訳) 野菜2件、魚1件、山菜・キノコ類7件、その他1件)
- ▼基準値を超えた食品 0件
- 相馬市で出荷制限などを受けている食品(5月2日現在)
- ▼くさそてつ(ごごみ) ▼たけのこ▼ふきのとう(野生)
- ▼ぜんまい▼たららの芽(野生)
- ▼原木しいたけ(露地)▼原木なめこ(露地)▼野生きのこ▼こしあぶら▼うど(野生)
- ▼牛(県の定める出荷・検査方針に基づくものを除く)

※最新の情報は、福島復興ステーションホームページ内の「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング結果【詳細】」で確認ください。

【詳細】
https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/non-kekahmi
◎これまでの食品の検査結果(相馬市ホームページ)
https://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/nousanbutsu/3730.html

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)